

11月の県内景況は、円安の影響により低迷。 小売・サービス業では年末商戦に期待。

情報連絡員による平成26年11月の県内中小企業の景況は、業界全体として「好況」は16.7%（前月比-2.0）となっており、「横這い」は35.0%（同-4.0）、「低調」とするところが48.3%（同+6.0）、業界全体の「景況感DI」は-31.7（同-8.0）となっています。

1. 全産業の項目別前年同月比DI値の動き

◇「売上高」「在庫数量」「販売価格」「収益状況」「資金繰り」「雇用人員」の項目において前月と比較して減少しています。

2. 業種別の「業界の景況」

◇前年同月と比較して、建設業は「快晴」、食料品製造業、繊維製品製造業、鉄工機械製造業、その他の製造業は「曇り」または「薄曇」、その他の業種はすべて「大雨」または「雨」となっています。

◇来月の見通しは、やや悪化、悪化の見込みは、15.0%（前月比-10.4）と減少しております。好転、やや好転の見込みとの回答が25.0%（前月比+16.5）と増加しております（好転の回答0件、やや好転の回答15件）（製造業7、非製造業8）。また、変わらないが、60.0%（前月比-6.1）と減少しております。

平成26年11月の景況について、情報連絡員からの報告は以下のとおりです。（回収率100%）

項目別DI 業種区分	売上高		販売価格		収益状況		資金繰り		雇用人員		業界の景況	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
食料品製造	14.29	-28.57	0.00	28.57	0.00	-14.29	0.00	0.00	0.00	-28.57	-14.29	-28.57
繊維製品製造	0.00	0.00	-33.33	-33.33	-33.33	0.00	-33.33	-33.33	0.00	0.00	-33.33	0.00
木材木製品製造	-25.00	-75.00	0.00	0.00	-75.00	-100.00	-50.00	-50.00	0.00	25.00	-75.00	-100.00
鉄工機械製造	-60.00	-60.00	0.00	20.00	-40.00	-40.00	-20.00	-20.00	0.00	-40.00	-20.00	-20.00
その他の製造	-28.57	-42.86	0.00	42.86	-14.29	-14.29	-14.29	-14.29	-14.29	0.00	-28.57	-28.57
卸売業	0.00	-50.00	0.00	-50.00	-50.00	-50.00	-25.00	-25.00	0.00	-25.00	-50.00	-50.00
小売業	11.11	-44.44	-11.11	11.11	0.00	-11.11	-11.11	-11.11	-11.11	-33.33	-33.33	-44.44
商店街	-50.00	-66.67	-16.67	-16.67	-33.33	-33.33	-16.67	-16.67	0.00	-16.67	-33.33	-50.00
サービス業	-14.29	-57.14	14.29	42.86	0.00	-57.14	0.00	-14.29	0.00	14.29	-14.29	-42.86
建設業	20.00	40.00	0.00	40.00	0.00	40.00	0.00	20.00	0.00	20.00	0.00	40.00
運輸業	-66.67	-66.67	-33.33	33.33	-66.67	-66.67	-33.33	-33.33	0.00	-66.67	-66.67	-100.00

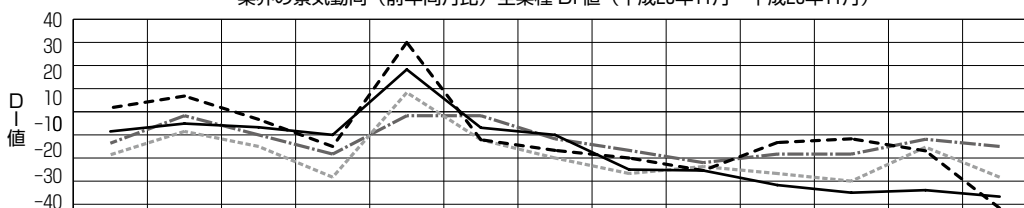
天気図の見方

各景況項目について「増加」（または「好転」）業種割合から「減少」（または「悪化」）業種割合を差し引いた値（D-I値）をもとに作成。その基準は下表のとおりである。

D-I値基準値

- 快晴 30以上
- はれ 10~30未満
- うす曇り -10~10未満
- くもり -30~-10未満
- 雨 -50~-30未満
- 大雨 -50未満

業界の景気動向（前年同月比）全業種DI値（平成25年11月～平成26年11月）



— 業界の景況
- - - 売上高
... 収益状況
- · - 資金繰り

	平成25年11月	平成25年12月	平成26年1月	平成26年2月	平成26年3月	平成26年4月	平成26年5月	平成26年6月	平成26年7月	平成26年8月	平成26年9月	平成26年10月	平成26年11月
業界の景況	-8.5	-5.1	-6.7	-10.0	18.3	-6.9	-10.0	-25.0	-25.4	-31.7	-35.0	-33.9	-36.7
売上高	1.7	6.8	-3.3	-15.0	30.0	-12.1	-16.7	-20.0	-25.4	-13.3	-11.7	-16.9	-41.7
収益状況	-18.6	-8.5	-15.0	-28.3	8.3	-12.1	-20.0	-26.7	-23.7	-26.7	-30.0	-15.3	-28.3
資金繰り	-13.6	-1.7	-10.0	-18.3	-1.7	-1.7	-11.7	-16.7	-22.0	-18.3	-18.3	-11.9	-15.0

食料品製造業

<漬物>

漬物業界は、特に古漬は10月11月と非常に売上が低調である。円安が止まらず、輸入原料の仕入価格の値上げが止まらない。このままでは収益が大変厳しくなる。

<パン>

ノロウイルスの季節を迎え、さまざまな組織が講習会を開催している。当組合も講習会を始め、菓品の配布などを行い、ノロウイルスをださないように努めている。

<味噌醤油>

昨年同期に比べ、醤油の出荷はやや微増、味噌は減少傾向にある。前月と比較し年末を迎え少しでも増加することを期待している。主原料の大豆・小麦は円安による影響が懸念される。これが価格に転嫁されないことは、中小零細企業の多い組合員にとって厳しい。

<乾麺>

北海道産玄そばの不作や、中国産玄そばの値上げと円安で1月よりそば粉の価格が約5%のアップの1kgあたり70円の値上げになる。小麦粉はシカゴの相場が上昇と急激な円安により、4月ごろ大幅な値上げが予想される。しかし中小企業零細企業の多い乾麺業界では、コスト上昇分が小麦価格に反映されるか難しい状況。円安が食料品に思わぬ影響を与え、中小零細企業は苦しい経営になりつつある。

<酒造>

日本酒の季節ということで売上が目立った。特に吟醸酒が前年比114%、純米酒108%と伸びている。原料米についても過不足なく順調に動いている。(価格的には問題あり：酒造好適米・加工米は割高、一般米は下落傾向)

<食品団地>

円安の影響による原料の高騰と、原油価格の小幅な値動きにより、売上は厳しい状況が続いている。消費動向も改善が見られず低迷している。

縫製品・同製品製造業

<ニット>

秋冬物はほとんど終了だが、人手不足の影響により一部納期の遅れが出ている。春夏物の生産に入っているが、まだまだ受注が少ない。

<縫製品>

11月後半より春物の生産が始まった。10月11月の端境期は従来より仕事の確保が難しく、休日を多くした事業所もある。12月は春物の生産が本格化するので前月よりは好転するだろうと期待している。

木材・木製品製造業

<製材業>

秋の需要期が過ぎ、丸太の引き合いは若干弱まってきているが、大きな落ち込みもなく、価格は維持されている。一方新築住宅の受注が低調なことを反映し、製品価格はなお下落基調で推移しており、製材工場は厳しい経営を強いられている。

<外材輸入>

10月末の追加金融緩和により、為替が10円強の円安に進み、さらなる原材料のコストアップにより需要低迷と重なり二重苦、三重苦の厳しい状況下にある。

紙・紙加工品製造業

<紙器・段ボール>

時代の流れで組合運営は難しい状況にあるが、時代を担う今の若い技能士が組合の核となる日を目指し、

組合が一丸となって精進している。

印刷業

<印刷>

今年4月の消費税引き上げ後の落ち込みが続いている。先行き売上増の期待は持てない状況である。

窯業・土石製品製造業

<陶磁器>

12月は冬季となるため、毎年売上は通常月の3分の1になる。

<碎石>

(県北地区)

1. 当月売上高の前月比 約5%の減
2. 当月売上高の昨年同月比 約8%の増
3. 今年度累計の昨年対比 約17%の増
4. 原因・状況 先月に引き続き、除染工事関連と生コン工場への納入割合が多い。

<生コン>

平成26年11月の組合員生コン出荷数量は、174,677㎡と対前年同月比7.7%の減。増加地区は東日本大震災等で被害を受けた道路、建物、港湾等復旧・復興工事が主たる要因。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比1.1%の減、官公需が13.7%の減であった。

■民需の動向

対前年同月比 1.1%の減

① 対前年同月比増加地区

<いわき地区> 11.6%の増

ヨークベニマル上荒川店新築、工場増設、県漁連冷凍冷蔵施設建設工事等

<相双地区> 45.4%の増

原発保安対策工事、常磐道双葉地区舗装工事、広野火発消波ブロック工事等

<会津地区> 21.6%の増

会津中央病院増築工事、老人福祉施設建設工事等

② 対前年同月比減少地区

<県北地区> 10.6%の減

土湯小発電所建設工事、老人ホーム建設工事等

<県中地区> 46.6%の減

マンション新築工事、須賀川暴飲建設工事等

<白河地区> 3.4%の減

工場新築工事、東北道中央防護柵更新・橋梁補修工事等

■官公需の動向

対前年同月比 13.7%の減

① 対前年同月比増加地区

<県北地区> 23.6%の増

霊山トンネル、伊達町仮設焼却炉、ふくしま国際医療科学センター工事等

<県中地区> 22.5%の増

郡山市中央公民館工事、三森2号トンネル、復興公営住宅建設工事等

② 対前年同月比減少地区

<白河地区> 4.6%の減

白河市民文化会館建設、白河中央中学校、新石川小学校建設工事等

<いわき地区> 13.7%の減

小名浜港東港地区護岸築造外工事、復興公営住宅建設工事等

<相双地区> 26.4%の減

海岸保全施設整備工事、減容化施設工事等

<会津地区> 36.4%の減

鶴城小学校新築工事、復興公営住宅建設工事等

<会津地区> 37.7%の減

鉄鋼・金属・一般機械製造業

<鉄工>

(県中地区)

鉄骨関係は年末に向かうため、仕事量も今までよりも少ない。

<各種プラント機器>

当組合のプラント設備関連業界は、工事量が先月よりも微増したものの、依然として低調で推移しており、今期いっぱいには続くものと思われる。売上高・収益状況は前月と比較して若干の減少傾向がみられ厳しい状況をひきずっている。

卸売業

<卸売業>

(県中地区)

原油価格の急落によって、石油製品の価格が値下がり基調にあるが、円安の進行によって相殺され、期待されるほど値下がりしていない状況。消費増税が先送りされたことは業界として歓迎するが、4月増税以降に落ち込んだ売上が依然として回復できずにいる業種も多い。

<青果>

秋冬野菜産地が温暖気候のため、出荷が早くなって供給過多になり、需給バランスが崩れて安値となり、販売状況が悪かった。

<再生資源>

11月の古紙市場は、円安を受けアジア向け輸出価格は上昇基調で推移し内外での価格差が拡大している。鉄スクラップも市場は低調で、年末に向けて様子見傾向である。例年、年末に向けて回収量は上向く傾向であるが、発生回収が減少している中、これからの動向に期待している。

小売業

<共同店舗>

(県中地区のOショッピングセンター)

11月は、前月比で来店客数・売上増となった。前年比も全体的に実績増となり、特に飲食店の売上が著しい。

<石油>

11月元売仕切価格は、中旬以降に若干の値下がりとなった。市場小売価格も値下げ傾向となり、16週連続の小売値下げとなっている。一方灯油シーズンとなったものの、本格的な冷え込みには至らず、需要増には程遠い状況にある。

<青果>

会津の身しらす柿の取り扱いも始まったが、やはり震災以降、放射能災害による消費者離れも今年に影響し、過去最悪の結果となってしまった。豊作ではあったが、単価の上昇も見られず、低価格で推移した。野菜自体も単価が安かったが、取り扱いが伸びなかった。11月下旬より、みかんの取り扱いも少しずつ始まったが、あまり動いていない状況である。12月の年末までの取り扱い増を期待したいが、厳しい状況である。

<電機>

合展、個展とも一段落だが、全体的に横ばいで一部好転しているところもあるが、あまりよくない。

商店街

<福島市>

11月には、【駅前元氣プロジェクト】の一環として、「フユフェスふくしま2014」が始まり、毎週末ごとに

イベントが開催された。「ももりんダッシュNo. 1」「ふくのとさと祭り」「ハロウィンふくしま」などが開催され、また「東日本女子駅伝」の際には通りを応援ののぼり旗で飾るなど、賑わいの演出がなされ、例年と比べれば低調なもの、それを補うことができていたような印象。11月全般の傾向としては、昼は市外からの来訪者を中心に人通りが増えたが、夜は低調なままだった。

<郡山市>

11月は前月比、前年比ともに下回り、個人消費が伸び悩んでいるのが、より明らかに表れた。消費税増税と円安の影響からなかなか抜け出せず、景気を回復させる起爆剤もないのが現状。これから衆議院選挙が景気好転につながるとは思えないが、これからの歳末商戦に期待するしかない。

<南相馬市>

年末の繁忙期をむかえる実感がわからない、静かな商店街となっている。連合売出しの効果もまだまだこれからのようだ。

<会津若松市>

11月の2度の連休があったが、多少の動きがあったものの全体としては静かな状況だった。本格的な冬を迎え、イベント等を計画して集客につなげたい。

<いわき市>

前年より土日が多いにもかかわらず、大変厳しい11月であった。消費ムードの停滞なのか、かなりの業種で“よくない”との声をきく。飲食業も落ち着いてきているとのことで、夜の街を歩く方も減ったように感じる。今年も年末ジャンボ宝くじ発売と同時に、宝くじを求めめるお客様が多く、道路も渋滞。しかし商店街の物販にはほとんど循環しない。12月のイベント、そして冬物への需要が多くなることを期待している。

サービス業

<旅館業>

(土湯温泉)

秋の紅葉シーズンの活況を期待していたが、思ったほど人出が伸びなかった。天候の影響、景気の影響など多々あると思うが、地方への好景気の波が来る前に終わってしまった感じがする。

(いわき湯本温泉)

復興関係の作業員の宿泊人数が昨年同月に比べ約3,000人の減となった。一般客の宿泊人数は昨年同月に比べ約800人の増となったが、震災前から比べるとまだまだ一般客(観光客)の人数は足りない。12月は1人でも多くの観光客の見込みに期待する。

<理容業>

どの地域も大きな変化はなくて例年通りの状況のようだ。10月が悪かったので少しではあるが、売上が伸びたという人もいる。ほとんどが固定客なので毎月来店する人は少なく特に涼しくなるにつれて頻度は落ちる。夏に来店した人たちで10月を越して11月に来店した人たちも多い。景気が良くなり毎月1回調髪するような時代が来ればと願うものである。アベノミクスも我々サービス業には届いてこない。年末は少し忙しくなるので期待して頑張る。

<廃棄物収集運搬業>

業務は比較的安定している。今後の業務に関しては暗い材料もでてきた。

建設業

<建設業>

(県南地区)

除染業務が主な売上となっている。除染用資材は若

干不足しているが、一時保管場所が見つからないため除染を進められない工区があるため、緩和されている。一般工事は建築が8割、土木2割である。

<管工事>

前月比で給水設備申請が増加し、排水設備申請は減少している。前年同月累計対比では、給水・排水設備申請とも減少している。

<専門工事>

相変わらず人手は足りず、資材価格は高騰している。“景気がいい”というわけではなく、やむを得ずお金がかかっているだけではないのかと感じるばかりだが、業界的には有効求人倍率や収益の観点から好調と分類されているのがおかしく感じられる。一方で、新しい県知事が決まったというのに、突然の衆議院解散で総選挙に突入することになった。とにかく、やるべ

きことをしっかりやってもらえれば、何もいうことはないが、巷で言われるように政権の延命のために行うのであればお門違いのような気がする。

運輸業

<トラック運送>

(県北地区)

燃料費は徐々に下がってきているが、値上がりした分を運賃に転嫁できない状態のため、収益面でのプラス影響は少ない。受注は横ばい状態であり大きな変化はないが、運転手の確保が難しい企業も出てきている。

<ハイヤータクシー>

12月は年末で少しは動いてほしいが、選挙の関係で厳しいか。

県政トピックス

2015. 1

福島県次世代育成支援企業認証を取得しませんか

福島県では、家庭と仕事が両立でき、男女がともに働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組む企業を認証しています。

認証のメリット

- 企業のイメージアップ・優秀な人材確保
- 認証を受けた中小企業は県の「ふくしま産業育成資金」を利用することができる
- 県が行う入札や物品調達でのメリット

認証の種類

「子育て応援」中小企業認証

対象……県内に事業所があり、常時雇用する労働者が300人以下の法人

認証基準……労働者の意見聴取等を行ったうえで一般事業主行動計画を策定していること。また、行動計画策定後、企業内で育児休業取得者または育児のための短時間勤務制度の利用者が生じたこと。

「仕事と生活の調和」推進企業認証

対象……県内の事業所

認証基準……取組状況チェック表(※)における判定

- パートタイム労働者がいる企業 715ポイント中210ポイント以上
- パートタイム労働者がいない企業 560ポイント中165ポイント以上

まだ認証を受けてない企業も、認証を取得し、ワーク・ライフ・バランスに取り組んでみませんか。

なお、認証を受けるためには申請が必要となります。申請のための詳しい手続き等は、福島県商工労働部雇用労政課のホームページを御覧下さい。

(※) 取組状況チェック表も県のホームページからダウンロードできます。

福島 次世代育成

検索

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/32011c/jisedaininsyou.html>

また、ワーク・ライフ・バランスへの取組について専門的アドバイスを行うワーク・ライフ・バランスアドバイザーを派遣しています(無料)。ぜひそちらも御活用下さい。

お問い合わせ

福島県 商工労働部 雇用労政課
TEL. 024-521-7289